

日本音響学会第149回(2023年春季)研究発表会

第1日 3月15日(水)

第1日 (2023年3月15日)

会場番号	午前		午後			
	前半	後半	前半	前半B	後半	後半B
第1会場		電気音響	[ポスター]	[ポスター]	電気音響	電気音響
第2会場			第12会場で[SS高臨場感オーディオ]が開催			
第3会場	音声A・音声B	音声A・音声B	音声A・音声B		[ポスター]	[ポスター]
第4会場		[ポスター]				
第5会場	建築音響	[ポスター]	建築音響		建築音響	
第6会場	騒音・振動	第5会場で建築音響、騒音・振動 合同開催	騒音・振動		アコースティックイメージング	
第7会場			[ポスター]			超音波(水中音響を含む)
第8会場	[ポスター]	[ポスター]	音声コミュニケーション		SS[音声コミュニケーション]	SS[音声コミュニケーション]
第9会場	音楽音響	音楽音響	音楽音響		音楽音響	
第12会場		オーディオ	SS[高臨場感オーディオ]			
ポスター(1)			[電気音響]	[電気音響]		
ポスター(3)					[音声A・音声B]	[音声A・音声B]
ポスター(4)		[聴覚]				
ポスター(5)		[建築音響], [騒音・振動] 第5会場				
ポスター(6)		で合同開催				
ポスター(7)			[超音波(水中音響を含む)]			
ポスター(8)	[音声コミュニケーション]	[音声コミュニケーション]				

※ 表中の会場番号欄のポスターのカッコ内数字は、会場番号を示します。

※第1日目は第2会場、第10会場、第11会場での発表はありません。

プログラム全体に係る重要事項

- ・口頭発表は、Zoomを利用する遠隔開催(オンライン開催)で実施します。1件当たりの発表時間は15分です。目安として、12分が講演時間、3分が質問時間です。第149回(2023年春季)研究発表会では、口頭発表のセッション終了後のフリータイムは、10分又は20分です。準備時間は、それぞれ5分、10分で、セッションが連続する場合は合計で15分又は30分となります。
- ・第149回(2023年春季)研究発表会におけるポスターセッションの開催概要は次の通りです。
 - 1) ブレイクアウトルーム(Zoom)を使用します。一つのZoom IDに複数のルームを設定します。詳細は、学会ホームページ、ポータルサイト(2023年3月初旬公開予定)をご覧ください。
 - 2) 発表者が作成したポスターを掲示するwebサイト(「ポスター掲示サイト」と聴講する方とリアルタイムに質疑を行う「ポスターセッション」の2つにより行われます。
 - 3) 「ポスターセッション」のセッション時間は60分です。ポスターセッションが連続する場合は、15分のポ

スター発表者の交代時間を設けます。

- ・「ポスター掲示サイト」にあるポスターは、会期中を通して閲覧が可能です。チャット機能で質問等を記入することができます。

第1会場（第1日） 電気音響

第1会場 電気音響／午前－後半(10:30～12:00) [ANC・音響応用] 座長 秋田 昌憲 副座長 岩居 健太

1-1-1 (10:30～10:45)

フィードフォワード型能動騒音制御システムにおける2次系の常時推定法

○藤井 健作(コダウェイ研), △棟安 実治(関西大), 菅木 禎史(千葉工大)… (1)

1-1-2 (10:45～11:00)

ANCシステムのバーチャルセンシング技術におけるオンラインモデリングの改善に関する検討

☆豊岡 祥太, 梶川 嘉延(関西大)… (1)

1-1-3 (11:00～11:15)

多マイクロホンを活用した非定常騒音の時空間予測モデルの基礎検討

◎小塚 詩穂里, 鎌土 記良, 伊藤 弘章(NTT)… (1)

1-1-4 (11:15～11:30)

日本語母音発声におけるマスクの種類および着用形態のフォルマントへの影響

☆木戸 孝, △中村 雅昂, 緑川 洋一, 秋田 昌憲(大分大)… (1)

1-1-5 (11:30～11:45)

肉伝導マイクロフォンを用いた不快感情の検出方法の検討

☆野中 彰人, 緑川 洋一, 秋田 昌憲(大分大)… (2)

1-1-6 (11:45～12:00)

デジタル音響信号のサンプル置換による情報秘匿のブラインド検出

○西村 明(東京情報大)… (2)

[フリータイム10分]

第1会場 電気音響／午後－後半(15:30～16:30) [空間音響] 座長 飯田 一博 副座長 植野 夏樹

1-1-7 (15:30～15:45)

格子状配置4マイクロホンによる音圧比に基づくスピーカー放射方向推定

☆津田 龍星(阪産大院), 前川 大樹, 栗谷 朋留(阪産大), 中山 雅人, 高橋 徹(阪産大院)… (2)

1-1-8 (15:45～16:00)

LSTMを用いた多チャンネル音響信号の空間性識別

○柴田 咲葵(東京電機大院・シスデザ研究科), 伊勢 史郎(東京電機大)… (2)

1-1-9 (16:00～16:15)

正中面のPNPモデルによる全天空個人化頭部伝達関数の生成

☆中村 風香, 飯田 一博(千葉工大)… (3)

1-1-10 (16:15～16:30)

時変空間フィルタリングに基づく再生信号適応型マルチスポット再生

○岡本 拓磨(NICT)… (3)

[フリータイム10分／準備時間5分]

第1会場 電気音響／午後－後半B(16:45～18:00) [音響イベント分類・表現] 座長 原田 登 副座長 井本 桂右

1-1-11 (16:45～17:00)

Investigating the impact of patching methods on the use of transformer-based image classification models for audio classification

☆Shiqi Zhang(Waseda Univ.), Li Li, Yasunori Ohishi(NTT CS Lab),
Daiki Takeuchi, Daisuke Niizumi, Noboru Harada(NTT), Shoji Makino(Waseda Univ.)… (3)

1-1-12 (17:00～17:15)

トラフィックカウンタにより取得した学習データに基づく音による交通モニタリング

☆高橋 知宏, 木下 裕磨, 若林 佑幸, 小野 順貴(都立大),
△本多 潤, △福馬 誠士, △中川 浩(ネクスコ東日本エンジニアリング)… (3)